

3校の教諭 授業や成果発表 和歌山市内で実践報告会



教育現場で新聞を活用する「NIE」の取り組みについて、学校関係者らが共

高松小では「まわしよみ新聞」の取り組みを実施。

有する県NIE実践報告会が和歌山市内で開かれた。県内の平成29年度NIE実践指定校の和歌山市立高松小学校、美浜町立松洋中学校、県立日高高校（御坊市）の3校が、新聞を生かした授業の事例や成果を発表した。



新聞を活用した教育の取り組みを発表する教員＝和歌山市

6年の児童らが複数の新聞から関心のある記事を切り取ってワークシートに貼り、内容の要約や選んだ理由を書いてグループ内で話し合ったり、似たジャンルや関連性のあるものをまとめて見出しをつけて壁新聞を作ったりした。

当時、同校教諭として指導に当たった市立教育研究所専門研究員の小西康弘さん(38)は「多くの人の目を通って精選された記事は、安心して学習の素材にできる。学校で購読している新聞は児童らの間で取り合いになるほどだった」と話した。

県内の30年度NIE実践指定校は次の通り。

和歌山大学付属小、砂山小、紀之川中、星林高（和歌山市）、大東小、東海南中（海南市）、大島小（串本町）、富田中（白浜町）、日高高（御坊市）、新宮高（新宮市）